

映像豆知識

VR入門体験講座

こんにちは。リンクイット代表の中谷です。最近巷では、2016年はVR元年と呼ばれているのをご存知ですか？ スマホの次に来る革新的なITデバイスはVRだとも言われています。そんな今なにかと話題のVR入門体験講座ということで、そもそもVRとは何なのか、ということと、実際の手軽な体験方法をご紹介しますと思います。



VRって何？

「VR=Virtual Reality」の日本語訳は「仮想現実」と訳されることが多いのですが、直訳的に「人工現実感」とも言われます。専用のVR用機器を装着し、コンピュータで作られた3D空間にまるで自分がその空間にいるような体感・体験を得られる技術のことです。現在普及しつつある機器は、目を覆うゴーグルを装着する「ヘッドマウントディスプレイ」が主流です。



その最大の特徴は「没入感」です。例えば、ビルとビルの間を張られたロープの上を渡るシーンを想像してみてください。4Kの60インチの大型液晶TVで見れば、それなりに恐怖感は伝わってきますが、ヘッドマウントディスプレイでVR映像を見れば、本当に自分が綱渡りをしているような、よりリアルな感覚を味わえるはずですよ。

VRの最も有効な活用分野は「ゲーム」です。従来のゲームでは味わえなかったスリリングな体験が可能になるでしょう。そして、今後はもっと様々な分野での活用が期待されています。例えば、医師が手術の練習を行うためのVRや、飛行機の整備士の訓練用のVRなどです。

手軽なVRの体験方法

いくら言葉で説明しても、なかなかイメージがでないのもVRの特徴です。とうことで、実際に体験してみましょう。

ハイエンドVR機器は数万円から10万円以上のコストをかけないと体験できませんが、モバイルVRであれば、新し目のスマートフォンさえあれば、わずか1000円ほどで体験ができます。

<今回のVR体験で使用した機材とアプリ>

- VRビューア: Patech VRカードボード V2.0 999円 (Amazonで購入)
- スマートフォン: (Galaxy S6 Edge) (筆者通常使用)
- アプリ: Google Cardboard (無料)

VRビューア「Patech VRカードボード V2.0」はGoogle Cardboard対応の段ボール製のシンプルなものですが、まずはVRを体験してみるには十分でしょう。なんといっても価格が999円と激安です。Amazonで買ったので、翌日には届きました。次にスマートフォンは、私が普段から使っている、2015年発売のサムスン製スマホ「Galaxy S6 Edge」です。Google Cardboardは、「WebGL」という3Dグラフィックスに対応したスマートフォンが必要になります。Android端末はもちろん、iPhone6などでも十分に動くはずですよ。

アプリにつきましては、今回はGoogleが作ったVR用アプリ「Cardboard」を使ってみます。このアプリは、Google Cardboard対応のVRアプリを管理するためのものですが、デモが付いているので、まずはそれを試してみることにしましょう。

<体験手順>

① まずVRビューアを組み立てましょう。



Patech VRカードボード V2.0 999円 (Amazon)

組み立てるといっても、ちょっと段ボールをひっくり返したりするだけなので、誰でも簡単にできると思います。

② スマートフォンに「Google Cardboard」をインストールしてください。



Google PlayのCardboardのインストール画面

③ Cardboardアプリを起動します。

注意: 初めて起動した時、ビューアの設定=どんな種類のビューアを使っているかを聞いてきますが、「Patech VRカードボード V2.0」は不具合で上手くQRコードが読み込めないで、とりあえず次に進み、「Cardboard デモ」を起動してください。

④ ビューアにスマートフォンをセットし視聴する
アプリの画面で「スマートフォンをセットしてください」というメッセージが表示されたら、スマートフォンをVRビューアにセットし、覗いてみます。

実際に見てみると・・・



Cardboardデモでは、Google Earthで世界の観光地を空中散歩したり、美術館の中を歩いたりすることができます。私は、スマートフォンに記録されている自分で撮影した動画を、映画館のスクリーンで見ているような体験ができるのが面白かったです。

実用的なところでは、Google ストリートビューもCardboardに対応していて、ビューアで見ると、まるでその場所を歩いているような体験をすることができます。初めて行く場所を予めビューアで見れば、実際に行っても目的地まで迷わないで済むかもしれません。



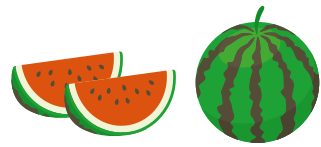
Google ストリートビューもVRに対応

VR元年・・・今後の普及に期待

このように、VRは非常に身近な存在になりつつあります。もうすぐ、PlayStation VRも発売になり、一気にVRが普及する可能性があります。また、ゲームだけに限らず、様々な分野でVRが当たり前に使われる時代がすぐやってくるかもしれません。是非皆さまも一度体験してみたいかでしょうか。



PlayStation VR 発売間近!



📢 スタッフおすすめの一品

もう紙の手帳はいらない?!「タブレットPC」

かさばる手帳やノート、日記帳が必要なくなる時代がやってきました!
電源ONですぐ入力、書き間違ってもすぐ修正、コピーやクラウド同期も・・・。
最新タブレットPCは、そんな便利な仕事のスタイルを実現してくれるのです。



最近発売されているノートPCには、「クラムシェル」と言われるものと「2in1」と言われるタイプのものがあります。「クラムシェル」というのは、従来からあるノートPCのことで、「2in1」というのは、従来のノートPCのようにも使えるし、タブレットとしても使えるものです。「2in1」タイプのものには、キーボードを取り外せたり、キーボードが360度回転して液晶部分の裏に納まるものなど、様々なタイプがあります。

2in1タイプのノートPCの最大の売りは「タブレットのように使うことができる」ということですが、私が実際に使って感じる最大の利便性は「文字を手書きすることができる」というです。パソコンやタブレットの画面に直接文字や絵を手書きするという機能自体は、以前から存在していたのですが、数年前までは正直言って実用レベルではありませんでした。文字や絵を書いても線が歪んでしまい思うように描けないし、書いている最中にペン先以外に手をつけて書くと、その手の部分を認識してしまう、といった具合に、おおよそ紙に書く感覚では使えませんでした。しかし、最近のペン入力対応の2in1タブレットPCは、液晶や入力ペンの精度がとても向上し、手を画面に着きながら書いてもペン先以外は認識しないようになっているので、ほとんど紙に書いているのと変わらない書き味になっています。Windows10自体も手書き対応の機能が強化されてきています。



私は1年前からタブレットPCを使用していますが、実際に紙の手帳は、ほぼ使わなくなりました。打ち合わせの時でもタブレットPCに直接手書きでメモするようになってきました。そして、私は日記もタブレットPCで書くようにしています。日記を継続して書くためには、分厚い日記帳が必要だったのですが、今ではタブレットPC1つで事足りてしまいます。メモや日記のデータをクラウドで同期させれば、他のPCでも読み書きすることが可能です。

ちなみに、私はタブレットPCはMicrosoft Surface3を、手書きノートソフトはMicrosoft OneNoteを使用しています。皆さんも興味があれば、一度タブレットPCの手書きを試してみたいはかがでしょうか。



気になる映像ピックアップ!

手軽に宇宙旅行を楽しみませんか?

今回お勧めする映像は、NASA(アメリカ航空宇宙局)が撮影した宇宙からの映像です。ぼんやり眺めていると、まるで宇宙空間にいるような感覚を体験できますよ!

● 視聴環境を整えよう!

何はともあれ、実際に見てみたいのですが、いくつか注意してほしい点があります。

まず、できるだけ大きくて高精細なディスプレイで見てください。できればフルHD(1980x1080)以上の解像度で見るとお勧めします。理想は60インチの4Kテレビです。次に、できるだけ高速な回線で見てください。光回線で、wifiではなく、有線ケーブルで接続されたPCやテレビが良いでしょう。勿論、それ以外の環境でもYouTubeが見られれば基本OKです。

● それでは実際に見てみましょう!

①環境が整ったら、YouTubeを開き、検索キーワード「NASA 4K」で検索してください。するといくつか動画が検索結果に出てくるので、一番上の動画を見てみてください。

②PCで御覧の場合は、動画の再生が始まったら、YouTubeのプレイヤーを全画面にしてください。

③右下の歯車のアイコンをクリックし、画質をできるだけ高画質に変更



してください。できれば、2160p(4K)を選択してください。

さあ、どうでしょう。画面一杯に地球の映像が広がりましたか?大きいディスプレイで4K画質で御覧になると、不思議な感覚が味わえ

ると思います。そう、まるで本当に宇宙空間から地球を眺めているような感覚です。夜景の上に漂うオーロラ、雲の合間から点々とフラッシュする雷など、思わずうっとり見入ってしまいます。

今まで正直4Kテレビの価値が今一つわからなかったのですが、このような映像を見ると、俄然4Kテレビが欲しくなります。恐らく暗い部屋で60インチの4KテレビでNASAのこの宇宙映像を見ると、まるで肉眼で宇宙空間から地球を眺めているような錯覚に陥ることだろうと思われます。

個人が宇宙旅行できる時代が近づいていると言われていますが、それでも旅行代金は少なくとも1,000万円以上はかかるようです。一方、20万円ぐらい出せば4Kテレビが手に入るようになりました。宇宙旅行代わりに4Kテレビに投資するのはいかがでしょうか?



ご利用アドバイス

Blu-rayの形式は何か良い？



Blu-rayが一般に使われるようになって5~6年が経ちますが、HDDレコーダーの普及やネット配信の普及によって、DVDに比べるとBlu-rayが今一つ普及していません。しかし、ハイビジョン画質の映像を記録するメディアとしては唯一の媒体なので、弊社でも徐々にですがお取り扱いが増えています。そこで、今回はBlu-rayの記録方式についてご紹介したいと思います。

2つの形式が存在する

Blu-rayへの映像の記録形式には「BDMV」と「BD-DAV」の2つの形式があるのをご存知でしょうか？DVDの場合も「Videoモード」と「VR」モードがあったのですが、ちょうどそれに対応する形で、Blu-rayにも2つの形式があります。各々の形式で特徴が異なるので、使う用途によって使い分ける必要があります。

「BDMV」と「BD-DAV」の特徴

B2つの形式の特徴を見ていきたいと思ひます。

BDMVの特徴

- 市販のブルーレイディスク (BD-ROM) などに使用されるフォーマット
- 追記及び編集は不可能
- メニュー画面が付けられる
- マルチ音声のコンテンツが作成出来ないている

BD-DAVの特徴

- TVの録画用を前提にしたフォーマット
- 追記及び編集が可能 (未クローズの場合に限る)
- メニュー画面は付けられない
- TVの音声多重放送に対応する為、マルチ音声録画可能

「BDMV」と「BD-DAV」の作り方

パソコンで映像のBlu-rayを作成すると、ほとんどの場合「BDMV」形式になります。Blu-rayレコーダーでBlu-rayを作成すると「BD-DAV」形式になります。

パソコンの場合「ほとんど」と申し上げたのは、パソコンではソフトによってBD-DAV形式のBlu-rayも作成できるからです。

2つの形式のメリット・デメリットは？

	BDMV	BD-DAV
メリット	<ul style="list-style-type: none"> ●様々な場面で安定した再生互換性を発揮できる。 ●メニュー画面のほか、オートリピート機能も付加可能。(BD-DAVではリピート機能という概念がない) 	<ul style="list-style-type: none"> ●デッキでの再生互換性がBDMVに比べ高い。 ●納品先においてデッキに取り込むことができ、取り込んだ映像を編集して再度BDを作成する事もできる。
デメリット	<ul style="list-style-type: none"> ●デッキでの再生時にはBD-DAVに再生互換性が劣る。特に古いデッキでは再生出来ない可能性が高い。(ファームウェアのアップデートをしていないデッキ) ●デッキで取込みが出来ない。 	<ul style="list-style-type: none"> ●デッキ再生時には問題ないが、PCでの再生等を考慮すると安定性に欠ける。DVDのVRに似ている。 ●メニュー画面やオートリピート機能が利用できない。そもそも、BDビデオ (BDMV) とは似て非なるものと考えた方がよい。

用途によって使い分け

このようにBDMVとBD-DAVは同じBlu-rayでも若干仕様異なります。使う用途によって使い分ける必要があります。

BDMVの用途

- メニュー画面付きのBlu-rayにする場合
- PCでの再生を重視する場合
- 販売物や配布物として不特定多数の人が利用する場合

BD-DAVの用途

- Blu-rayレコーダーでの利用を重視する場合
- Blu-rayレコーダーでの映像の取り込み、編集して再作成する場合
- 個人での映像記録の保存や管理で利用する場合



4コマ写真

社内に
モンスター発見！



クーポンNo. NL11300

クーポンNo. NL11800

クーポンNo. NL11500

ダビングセンター全サービス対象

5,000円以上ご利用で

300円割引クーポン

有効期限 2016/11/30・お一人様1回限り

ダビングセンター全サービス対象

10,000円以上ご利用で

800円割引クーポン

有効期限 2016/11/30・お一人様1回限り

ダビングセンター全サービス対象

30,000円以上ご利用で

1,500円割引クーポン

有効期限 2016/11/30・お一人様1回限り

ダビングセンター
全サービスに使える!

**割引クーポン
プレゼント!!**

クーポンを切り取りで提示頂くか
注文フォームのキャンペーン欄に
クーポンNo.をご記入ください。

ダビングセンターからのお知らせ

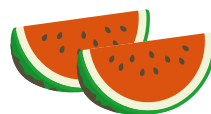
2016年7月～

メディアが変更になりました

弊社のDVD/CDコピーサービスやダビングサービスでは、
2016年1月から三菱化学製のメディアを使用しておりましたが、
太陽誘電後継の台湾CMC社ブランド「CMC-PRO」のメディアへ
変更いたしました。太陽誘電の技術を引き継いだ高品質メディアです。

リンクイット・
ダビングセンター

NewsLetter vol. 11



CONTENTS

- 映像豆知識 **VR入門体験講座**
- スタッフおすすめの一品 **もう紙の手帳はいらない?「タブレットPC」**
- 気になる映像ピックアップ! **手軽に宇宙旅行を体験しませんか?**
- ご利用アドバイス **Blu-rayの形式は何が良い?**
- 4コマ写真 **社内にモンスター発見!**



映像の役に立つ情報満載

リンクイット・
ダビングセンター NewsLetter

バックナンバーはこちらから

<http://www.tokyo-dc.jp/newsletter>

お問い合わせ

リンクイット
ダビングセンター

0120-970027

ホームページ

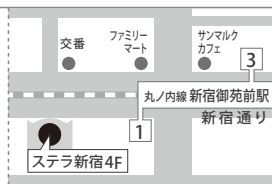
www.tokyo-dc.jp

東京 (東京ダビングセンター)

〒160-0022 新宿区新宿2-1-9 ステラ新宿4F

月～土 10:00～18:00 (日・祝祭日休み)

東京メトロ丸ノ内線 新宿御苑前駅より徒歩1分



大阪 (大阪ダビングセンター)

〒541-0041 大阪市中央区北浜3-5-20 松栄ビル7F

月～金 10:00～18:00 (土日・祝祭日休み)

御堂筋線/京阪本線 淀屋橋駅より徒歩1分

